








MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# MCN REPORT

Vol.20 2013.9

 あいさつ	1 ページ
 トピックス	2 ページ
 大学の動き	3～6 ページ
 学生生活	7～10 ページ
 卒業生訪問	11～12 ページ
 教職員紹介	13 ページ
 お知らせ	14 ページ

## トピックス

**第1回公開講座「人の可能性について」** 2 ページ

**電子カルテシステムの授業開始** 2 ページ

## シリーズ

**卒業生訪問** 11～12 ページ



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」

# あいさつ

理事長〔学長〕 あいさつ

村本 淳子

## 教育の質向上をめざしてがんばっています！



本学は、今年いろいろな方面から大学評価を受審する年です。

平成 21 年 4 月に地方独立行政法人化した本学は、1 期 6 年間の中期目標・中期計画に基づいて、毎年、計画を立案し、その結果を法人の評価委員会に詳細に報告し、評価を受けています。

今年にはさらにその中間評価、つまり中間総括をする年になっています。

また文部科学省から大学としての価値を最低 7 年に 1 回は評価してもらうこと（認証評価）が義務付けられており、本学は平成 13 年に大学基準協会に審査の結果、入会が認められ、大学基準適合認定を受けています。今年には 3 回目の認証評価を受けるために準備をしているところです。優秀な学生さんに

入学していただき、質の高い教育をして、質の高い看護実践家を育成していくことが本学の使命と考えています。そのためには PDCA サイクルの考え方にそって、教育・研究の実践を評価し、つねに高い教育・研究をめざして常日頃努力しています。

本学は昨年（平成 24 年）の 5 月 8 日で開学 15 周年を迎えました。そこで看護博物館の開館、「三重の看護史」の編纂を行い、三重県の看護の可視化を試みてきました。今年には編纂した「三重の看護史」を授業に活用したり、4 年間にわたるキャリアデザインの授業や日本語トレーニングなど、時代をつねに読みながら、本学独自の教育を組み立て本学の特徴を前面に出した教育を行っています。

本学が、今後ますます充実、発展していけるよう教職員一同さらに努力していきます。後援会の皆様、卒業生の皆様、引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

## 後援会会長あいさつ

市川 稔



こんにちは、後援会長の市川です。図々しくも後援会に入ってから 4 年目に突入してしまいました。本年を最後にと一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

さて、本学は開学以来 16 年が経過し、ここ数年来ますます良い意味で「大学

らしく」なってきたように感じるのは私だけではないと思います。この本学が醸し出す独自の雰囲気は、見えるところでの学生たちの頑張りぶりはもとより、見えないところでの先生方の奮闘ぶりがベースとしてあるのは間違いありません。

私たち後援会はこうした本学を下支えし、応援していく組織です。本年も引き続き、本学後援会が実施する各種事業に対し格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

## 平成25年度後援会役員

役職	氏名		役職	氏名	
会長	市川 稔		理事	高橋 英樹	新任役員
副会長	米田 恭三	新任役員	監事	出口美代子	
副会長	川出 明伸		監事	近藤 恭弘	新任役員
理事	小堂 幸恵	新任役員	顧問	村本 淳子	学長
理事	横田 尚美		顧問	伊藤 隆	事務局長
理事	北川 智子		事務局長	加藤 和浩	事務局副局長
理事	宮崎由美子		事務局	小久保純一	
理事	玉樹 麗子		事務局	梶 智恵	
理事	出岡 裕美	新任役員			

# トピックス

## 第1回公開講座を開催しました。

7月17日（水）に平成25年度第1回公開講座を開催し、中京大学名誉教授 室伏重信先生による講演が行われました。

陸上競技ハンマー投選手として華々しい記録をもち、また指導者としても数多くの名選手を育てられた先生のご経験をもとに、「人の可能性について」と題した講演をしていただきました。自信は活力につながり、自分を高めることは喜びにつながる、そして刺激を与えそれに適応していくことで人は高まっていくという内容で、参加者からは「何



歳になっても自分自身を高める努力が必要であり、高めようとする意識を持つことが大切だと思った。」「すごく前向きになれる講演でした。」等の声が聞かれました。

当日は315名の方にご参加いただき、またテレビ会議システムを使用して、伊賀市立上野総合市民病院にも講演の様子を配信しました。



## 電子カルテシステムの授業が本格的に始まりました！ー3年生医療情報学ー

電子カルテシステムの授業が3年生に対して本格的に開始されました。この授業は、医療情報学（齋藤真教授担当）において、実際に病院で使用されているソフトウェアを用いて講義と演習を中心に実施されました。電子カルテシステムは、学習用ソフトウェアが市販されていないため、従来は演習が不可能でした。しかし今回、本学の情報システムを管理運営している（株）ミエデンシステムソリューションの全面的なご協力があり、実現しました。学生は、一人一台のパソコンを用いて診察や処置の経過

入力、看護計画の作成や処置オーダーの処理に加えて、患者の入院から退院までの一連の流れについて、看護業務と関連させて学びました。さらにカルテデータの漏洩など、セキュリティ問題についても学習を深め



ました。電子カルテシステムの導入は、患者の待ち時間削減やチーム医療への貢献、さらにはヒューマンエラー防止など、メリットが高いと言われています。本学は、三重県内の大学では初となる今回の授業を今後も継続して行く予定です。





# 大学の動き

## オープンキャンパス

### 2013 みかんだいオープンキャンパスを開催しました



7月27日(土)に『2013 みかんだいオープンキャンパス』を開催しました。晴天に恵まれ暑い中ではありましたが、約550名と多くの高校生や保護者の方に参加していただきました。

講堂では大学紹介や入試説明を行い、大学紹介では本学の4年生が自分の体験談を交えて話をしました。また、成人看護学の長谷川助教による日本一受けたい看護の授業(模擬授業)も行い、「意外と知らない!? 緊急時の除細動のヒミツ」をテーマに、最新の救命処置技術を紹介しました。

各実習室では、血圧測定体験や聴診体験、赤ちゃんの沐浴体験や高齢者体験など参加者が実際に体験できるブースを数多く催しました。参加者からは、「ますます看護に興味が湧きました」、「学生さんが優しく丁寧に教えてくれました」、「学生と先生の仲が良い」、「大学の雰囲気がよくわかりました」などの感想をいただきました。例年オープンキャンパスでは教職員だけでなく本学の4年生にもお手伝いをお願いしています。優しく丁寧に対応してくれた4年生の姿に憧れて本学を志望してくれる高校生が増えたのではないかと、スタッフ一同実感しました。

## アカデミックオープンキャンパス

3月24日に開催し、参加者は県内外合わせ87名でした。今回は会場を津駅から徒歩圏内の場所に設け、アクセスも大変便利になりました。また、例年通りベテラン予備校講師の解説をはじめ、空き時間には進路相談等も活用いただき、参加者の皆様から「わかりやすくよかった」と好評を得ることができました。



## 入試情報

本学の入試は毎年アドミッションポリシーとの整合性を点検し、改善に努めながら実施しています。

今年度実施の平成26年度入試では、一般入試前期日程の個別学力検査において、これまでの「国語、数学、英語の3教科から1教科を選択して解答」するものから、「英語を必須とし、国語と数学の2教科から1教科を選択して解答」するものに変更します。この変更を通してより多面的に受験生を評価できるものと考えています。

また、平成27年度入試からは、特別入試に「センター試験を課す推薦入試」を新たに導入します。さらに高等学校の新学習指導要領への対応として、特別入試(地域推薦入試)での出願にかかる履修科目の変更、特別入試(一般推薦・帰国子女・社会人入試)での基礎学力検査の出題科目と一般入試(前期日程・後期日程)でのセンター試験の利用科目の変更などを予定しています。

平成26年度入試、平成27年度入試の変更点について、詳しくは本学ホームページ、入試情報の「受験生の方へのお知らせ」でご確認ください。



## 平成24年度看護学部卒業式・大学院修了式

平成25年3月16日に、平成24年度の本学看護学部の卒業式（第13期）および大学院看護学研究科の修了式（第11期）が行われ、看護学部生94名、大学院生2名が新たに本学を巣立ちました。今回の卒業式・修了式は土曜日に



に挙行了しましたので、多くの保護者、来賓の方々にもご出席いただきました。看護学部最優秀生として松本智佳さんが表彰され、卒業生・修了生の代表として謝辞を述べました。



## 平成25年度入学式

平成25年4月3日に、平成25年度の看護学部および大学院看護学研究科の入学式を挙行了しました。看護学部では難関をくぐり抜けた103名を新入生として迎えました。また、大学院



看護学研究科では2名が入学しました。新入生を代表して藤原菜奈美さんが、入学の決意を宣誓しました。教職員一同、全ての新入生が充実した大学生活を送られるようにサポートしていきます。



## 平成25年度認定看護師教育課程 「感染管理」が開講！



7月1日、平成25年度の認定看護師教育課程「感染管理」の入学式を挙行了しました。他の教育課程より高い倍率だった入試を乗り越えて、30名の研修生が、三重県を中心に全国から集まってきました。入学式の写真を見てわかるように、みなさん各病院を代表する方々で、凛とされているばかりでなく学習意欲がメラメラと燃え上っていました。

今回で当教育課程の開講も第3期となり、これまでに三重県内病院の研修生を34名受け入れることができました。この34名から三重県に根付いた地域密着型の感染管理が広がっていくことが期待されます。





# 大学の動き



## 附属図書館からのお知らせ

### 郵送返却サービスを開始いたしました

附属図書館では平成25年度から貸出ルール及び一般利用の登録方法を大幅に変更しました。これは返却期限内に図書を返却しない利用者が多数存在し、また一部の方は連絡が取れず、督促作業が非常に難航したためです。

具体的には登録情報を詳細にし、登録時に電話番号の確認等を行っています。また返却期限を電子メールで連絡することにしました。



郵送用段ボール

今回の登録変更に伴い、利用者の皆様にはお手数をおかけしておりますが、円滑な図書館運営のためにご協力をお願いします。

加えて一般の方を対象に図書の郵送返却サービスを開始しました。利用して頂くと返却日まで図書を借りていただき、翌日の郵送による返却で構いません。そのため期間いっぱいまで利用が可能です。来館の時間が取れない方や遠方にお住まいの方はぜひ郵送返却をご利用ください。ご利用に際して郵送に使用する箱代と郵送料はご利用者負担となりますのでご注意ください。

詳しくは図書館カウンターまでお問い合わせください。



### 情報処理教室の 土曜日開放について

本年度4月より情報処理教室の土曜日開放を開始しました。従来は平日のみ利用可能だったところを、学生アンケートなどでの要望に応える形で利用時間を拡大しました。現在のところ、申請者を対象とした実施ではありますが、すでに多くの学生に利用されています。

### 安否確認システムの改修と非常用発電機の導入について

昨年導入された安否確認システム「Anpi24」と非常用発電機を利用した初めての災害対策訓練が平成24年12月に実施されました。発電機を用いることで、万が一学内の電源が使えなくなっても、学生や教職員の安否確認と情報収集が可能となります。訓練の結果を受け、システムの提供元である(株)ミエデンシステムソリューションと協力して「スマートホンへの対応」や「安否登録時のパスワード入力の省略」等、より使いやすいシステムへ改修を行いました。改修されたシステムは平成25年4月より運用が開始され、使いやすく信頼性の高いシステムとなるよう期待されています。



2台並列運転で1800VAの出力が可能です

### 生協からのお知らせ

生協は今年「創立10周年」を迎えます。

大学関係者及び教職員学生のみなさまに支えられて節目を迎えることができました。

そこで今年はみなさまに感謝をこめて各種企画を用意しています。

「文庫・新書・雑誌の15%割引セール」「アイスクリームの特売」「お菓子の特売」「10周年記念メニューの提供」など企画しています。

また、3年生の臨地実習や認定看護師教育課程の研修生のみなさまの参考専門書籍など、割引で利用いただけるよう準備します。

ご注文はスマートホンなどから受け付けます。

メールアドレスはこちら → [seikyo@mcn.ac.jp](mailto:seikyo@mcn.ac.jp)



## 平成25年度地域交流センター

### 『講師派遣のご紹介』ブックレット及び『事業のご紹介』パンフレットのご案内

★『講師派遣のご紹介』は、「出前授業」、「公開講座講師派遣」、「看護研究支援」のご案内です。本学の教員が講師となって、各地域、団体、施設等へ赴いてお話をさせていただきます（「看護研究支援」の一部については、本学へお越しただくものもあります）。

多くの皆様にご活用いただければ幸いです。

地域交流センターへお申し込みください。

★『事業のご紹介』では地域交流センターが取り組んでいる様々な地域貢献事業を紹介しています。これからも県民の皆さまとの連携、協働、交流をとおして、地域づくりに貢献していきます。



## サポーター活動



大学の地域交流センターが目指す事業の出前授業等に係るサポーターとして、一昨年度から県内小中学校、高等学校等を訪問しています。大学のめざす地域連携の意図が伝わり、授業のご活用件数も増えています。特に、小中学校での児童生徒に対する授業は好評です。それに伴って教職員、保護者に対する研修会の講師依頼も多くなりました。学校、介護施設等に勤務する関係者は、地域社会における保健教育や健康管理の指導・支援や感染症対策、事故発生防止等の看護・介護などの研修の場を確保したい思いを知りました。なかでも心のケアで、強迫性障害等の児童・生徒への係わりやアナフィラキシ等の食物アレルギーに関する対処、喫煙・薬物使用の弊害についての指導助言に苦勞しています。学校や地域社会に暮らす子どもや高齢者の方々へ心身共に健康で、快適な生活を維持する指導・支援の必要性を強く実感しています。

三重県立看護大学 サポーター 沓張 久治

## F M三重夕方ワイド「EVENING COASTER」に出演しています

F M三重夕方ワイド「EVENING COASTER」（月～木17:00～18:55）の番組の中の TOPIC（17:27頃からの5分コーナー）に本学の教員が出演し、心と体の健康に役立つ話題をお届けしています。



村本淳子  
学長出演

初回は「リズムにのって女性がイキイキと生きる」というテーマで、助産師でもある村本学長が出演しました。女性がイキイキと生きるためには、受胎～死までどのようなライフサイクルに従って自分は生きていくのかを知ることが重要で、家族を含めた周囲の人々の理解と協力を得ながらその時期、時期を楽しむ工夫をしていくことを考えることが大切という内容で放送されました。



生理学、  
健康科学  
大西範和  
教授出演

第2回目は「熱中症にならないために」をテーマに大西教授が出演し、「だれもがなる可能性のある熱中症への対策」について話しました。熱中症の原因が、過度の体温上昇と脱水であるため、水分や塩分の適切な補給は熱中症予防にとっても大切ということ、その他にも通気性、吸湿性の良い素材を用いた軽装で過ごし、直射日光を帽子などで防いだりうちわで扇いだりするなど夏を乗り切るアドバイスについてわかりやすい説明がありました。



成人看護学  
玉田 章  
教授出演

第3回では、冬に多いと思われがちの心筋梗塞や脳卒中は夏にも多く発生するため、「夏の病気、血栓症の予防方法」について玉田教授が解説しました。夏は大量の汗をかくことで血液中の水分が減り、血液が固まりやすくなってしまいうため、こまめに水分を補給して脱水症を予防することが夏の血栓症予防になります。「上手に水分をとって暑い夏を乗り切りましょう」と呼びかけました。

次回からも、毎月第一木曜日に生放送でお届けします。ぜひお聞きください。

# 学生生活

## 夢緑祭



6月22日（土）に「第16回夢緑祭」を開催しました。当日ステージでは「ダンス」、「よさこい」、「バンド演奏」や「抽選会」

が行われ、模擬店「コスプレ喫茶」「ちびっこ広場」など様々な企画もあり、たくさんの方にご来場いただき大変賑わいました。



### 夢緑祭を終えて

第16回夢緑祭を無事終えることができ本当に良かったです。準備期間が短い中、学祭実行委員のみんなは本当に頑張ってくれていましたし、みんなに支えてもらって実現した学園祭だと心から思いました。教職員の皆さんも寄付金や様々なアドバイスをくださりとても励みになりました。外部から来ていただいた方からも「とても楽しかったです」といったお言葉をいただき、「よさこい」や「ダンス」、「バンド演奏」をととても楽しそうに見ていて、笑顔になってくれていたのが本当にうれしかったです。皆さんの楽しそうな笑顔を見て実行委員長をやってよかったなと思いました。最後に協力してくださった皆さんに感謝したいです。本当にありがとうございました。

夢緑祭実行委員長 2年 豊島 亮

## 災害にそなえて ～地域で考えよう「備えあれば憂いなし」～

本事業は、大規模災害発生直後の混乱期でもできるだけ健康を保つための知識や技術を地域の住民の方々と共に身につけることをめざしています。

夢緑祭ではブースを設置し（写真）、非常用物品・食品の展示と一部試食、準備物品マニュアルの配布、非常持ち出しリュック（成人1人1日分約7.5Kg）を背負う体験、非常用トイレ実験等をおこない、地域の皆様に興味をもっていただくことができました。今後も地域に出向き、住民の皆様と共に災害について考えていく機会をもちながら事業を推進していきます。



## ゆびた祭り

ゆびた祭りは、学生サークルである「ひだまり」が企画・運営するイベントです。浴衣を着た学生が、地域の方々と交流する中で、人と人との関わりを大切にし、魅力のある大学をつくり、より良い大学生活を送っていただけるようにと、学生たちが自ら考え開催しました。

今年は7月3日に開催され、去年よりもイベント、フードともに種類を増やし、イベントではヨーヨー釣り、さかな釣りゲーム、うちわづくり、宝探しゲーム、フードではからあげ、ポテト、焼きそば、たこやき、アメリカンドッグ、冷やしパイン、かき氷とドリンクを軽食として用意して、地域の方々をお迎えしました。

今年は天候に恵まれず、あいにくの雨にもかかわらず、小さなお子様から大人まで、約300人と沢山の方々にご来場いただきました。浴衣を着て来場していただいた方も多く、夕涼みの雰囲気をつくることができましたと思います。



小さなお祭りではありましたが、地域の方々と密着した楽しい祭りを提供することができました。

ゆびた祭り実行委員長  
2年 安藤 玲奈



7

MCN REPORT



## 三重県学生献血推進連盟「みえっち」

「みえっち」とは、三重県学生献血推進連盟のことで、平成25年2月に設立した、若者たちに献血を広める活動をしている三重県の学生ボランティア団体です。

3月9日にはみえっち主催の、「スタ☆フェス」(スタートフェスティバル)をイオン津店で行いました。

イベントは鈴木英敬三重県知事、岡田三重県赤十字血液センター長からの応援メッセージをいただいた開会式から始まりました。三重県の学生サークルによるステージや、三重県立看護大学による健康ブース、BINGO大会が大成功し、連盟のスタートにふさわしい、活動の第一歩になるイベントになりました。イベントを企画するのは私たちにとってもすごくいい経験になったと思います。今後も赤十字血液センターのご協力をいただき、学生目線でのアイデアを出して若者に献血の大切さを広めていきたいと思っています。

みえっち委員長  
3年 長谷川 有紗



## 学生表彰 学生 ISO 委員会、献血推進サークル「さくらんぼ」

3月14日、学生 ISO 委員会 (学生9名の団体) に対する学生表彰式が行われました。この学生表彰は、学生自治会の内部に学生 ISO 委員会を設置したことと、学生 ISO 委員会として EMS 外部審査機関によるサーベイランスに参加し様々な学内活動を行ったこと、ペットボトルのキャップを回収し NPO 法人エコキャップ推進協会に送り世界の子どもへのポリオワクチン26.8人分として寄付した社会活動に対して授与されたものです。



学生ISO委員会



献血推進サークル「さくらんぼ」

3月29日には本学の献血推進サークル「さくらんぼ」(学生11名の団体) に対して学生表彰式が行われました。この学生表彰は、「さくらんぼ」の学生たちが、他大学の学生も含めた三重県学生献血推進連盟「みえっち」の設立へ貢献したことに授与されました。



## 国家試験対策について

平成25年の国家試験は、助産師2月14日、保健師2月15日、看護師2月17日に行われました。今年の  
 本学の合格率は全国よりも高い結果でした。本学  
 の受験者に対する支援として、昨年度から国家試  
 験問題 WEB 法人サービスと契約して学生と教員  
 が活用しています。また今年も全員合格を目指し  
 て模擬試験や特別講義などを実施していきます。

	看護師	保健師	助産師
受験者数	92名	93名	5名
合格率(平成25年)	97.9%	98.9%	100%
全国合格率(新卒者)	88.8%(94.1%)	96.0%(97.5%)	98.1%(98.9%)

## 就職状況 平成24年度卒業生94名の就職状況です

就職状況	主な県内就職先	主な県外就職先
看護師 83名	社会福祉法人恩賜財団 済生会松阪総合病院	藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院
保健師 4名	地方独立行政法人 三重県立総合医療センター	名古屋市立大学病院
助産師 2名	国立大学法人 三重大学医学部附属病院	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳州会病院
進学 5名	日本赤十字社 伊勢赤十字病院	
その他	独立行政法人国立病院機構 三重病院 地域医療支援病院 市立四日市病院 伊賀市立上野総合市民病院	

県内 54名  
 県外 35名  
**県内就職率60.67%**

## フレンテまつり、みえ看護フェスタ2013に参加しました

6月7日(金)・8日(土)に三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」で開催された「フレンテまつり」に今年も参加しました。



看護フェスタ

“血管年齢 & ストレスチェック” “骨密度” “体脂肪” の測定や “アルコールパッチテスト” を行い、2日間で延べ1000名以上の方が三重県立看護大学のブースにお越しくできました。



フレンテまつり

7月6日(土)には「みえ看護フェスタ2013」に参加しました。本学の健康ブースには延べ350名以上の方にお越しいただき大変賑わいました。当日は進学相談ブースにも参加しました。

## 「三重の看護の歴史を / に学ぼう」

3年生前期「基礎演習」のひとつで「三重の看護史を / に学ぼう — 未来の看護を創るために —」をテーマに取り組んでいます。このゼミは、平成24年度本学開学15周年記念事業の一環として編纂・発行された『三重の看護史-昭和から平成への軌跡-』と、同時に開設された看護博物館の収蔵資料を基に、看護の歩みを振り返り、将来の看護のあり方、そのなかでの自分の役割等を考えるとともに、各自の生活設計を立てることを目的とするものです。

本ゼミに大先輩看護職の方々(本学サポーターの山口直美様と山分みき子様、本学特任教員阿部敬子先生)をお招きして、その活躍、実践、努力、苦労、看護への熱い思い、看護職の卵である本学学生に託す思い等を語っていただきました。三重の看護の歴史を創ってこられた方の視点から語られる看護の話は、臨場感に溢れ、参加学生が看護及び看護職者としての将来を熟考するよい機会となりました。



## ようこそ先輩・就職説明会

平成25年度の「ようこそ先輩・就職説明会」は、大型連休の間を縫って5月2日の午後に開催しました。昨年同様2部構成とし、1部の「ようこそ先輩」では、卒後2年目と3年目の看護師(男女各1名)、卒後3年目の助産師・保健師各1名と大学院生1名の計5名の先輩を招聘しました。各先輩にはパネル形式で、近況報告を含めた貴重な体験談を発表していただきました。真剣な表情で聞き入っていた参加学生は、発表後の質疑応答



の中で、就職試験の対策や国家試験と卒業研究の並行学習の方法など、多くの質問をしましたが、分かりやすく答えていただいたことによって、安心した表情を見せていました。

2部の「就職説明会」は、ご参加いただいた三重県内の医療機関32施設によって、パワーポイントやDVDなどを活用しながら、就職支援としての情報提供が行われました。卒業生を伴った施設も多く見受けられ、参加した学生は先輩に直接話を伺うことができ、とても有益な時間をもつことができたようです。

## 学生キャンパススナップ ～学内の日常を紹介します～



1年生のみなさんに、学生生活で楽しみにしていることや意気込みをききました♪



素敵な看護師になれるように勉強をがんばりたい!

大学は大変だけど看護師になるためにがんばります  
病院実習が楽しみ♪  
サークル(テニス)のイベントが楽しみ♪



勉強とサークルと遊びを充実させます  
4年間でしができない経験を沢山して成長して地元で活躍したい!



元気いっぱい頑張るぞー!!

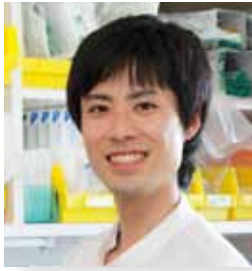


# 卒業生訪問

三重県立看護大学の卒業生をご紹介します。どのように就職先を選

## 的場 威

## 四日市社会保険病院



平成20年度卒業  
現在看護師5年目  
循環器内科病棟

私が四日市社会保険病院を選んだ理由は、学生時代実習先としてお世話になり職場の雰囲気が良く、看護体制が整っていたからです。実際就職してみて右も左も分からない状態でしたが、先輩方は皆優しく、患者様の状態把握のアドバイスや初めて行う看護技術には一緒についていただき、とても心強く学んでいくことができました。今ではスタッフ皆でいい意味でわいわい楽しく仕事に励んでいます。また新人研修にも力を入れているところは魅力的でした。研修で同期と仲良くなったり、他病棟の研修ではその病棟特有の看護処置を経験させていただいたり、愛知県他施設での臨床研修もあり、とても身になる経験で今でも忘れられない思い出です。

現在は循環器内科病棟で5年目になりました。途中から腎臓、糖尿病病棟も合併し生活習慣病を主とする患者様に携わることが多くなりました。患者様が退院後も疾患の管理ができるよう入院時から関わり指導していくことが大切だと思います。また、心臓カテーテル室のカテNsもさせていただき、緊張感を持ちスタッフ全員で力を合わせて治療に取り組んでいます。コメディカルとのつながりもあり、本当にこの病院はスタッフの仲が良いです。

私が看護師を目指した理由は、患者様とのふれあいが好き、ただそれだけです。これからスタッフや患者様から信頼される看護師を目指して頑張っていきます。

### 看護部からの一言

当病院は、三重県北部に位置し、病床数235床の急性期病院です。

その歴史は長く創立は明治30年で、昭和22年には第一号の社会保険病院として生まれ変わりました。

看護体制は、7:1を取得しており、ナイチンゲールの看護論を基本とした、KOMI理論を導入し「自分が受けたいと思う看護、大切な人を任せられる看護、患者さまがホッとする安心できる看護、いつも看護の視点を忘れない」を目指す看護に掲げ、常に患者さんに寄り添う看護を目指しています。

新人研修制度も充実しており、常に新人ナースのベースに合わせ、ゆったりとした指導を心がけています。

的場看護師は、カテナースとして循環器チームの要となり、インターベーション学会で発表もされ評価されました。また、病棟唯一の男性看護師として病棟の潤滑油となるべくさまざまな配慮や目配り等心遣いのできる看護師です。入職5年目で目覚ましい進歩がみられ、将来も期待しています。

## 森 百合香

## 独立行政法人国立病院機構 三重病院



平成23年度卒業  
現在看護師2年目  
2病棟（小児科）

私がこの病院に就職しようと思った理由は、小児2次救急を24時間受け入れ、小児に力を入れている病院であった事。また、総合実習と卒業研究でお世話になった際、スタッフの方々の患児、ご家族に対する優しくぬくもりのある関わりを見て、私も三重病院のスタッフのような、優しくぬくもりのある看護を行いたいと、この病院に就職を決めました。

三重病院に就職し、小児急性期、慢性期の特徴的な看護を経験する事ができ、他の病院では経験する事のできない幅広い小児看護を実践でき、日々充実しています。しかし、看護の技術面が上手くいかなかった事、患児とその家族とのコミュニケーションの中で上手くいかなかった事など、辛い経験もたくさんあります。そんな時には、先輩ナースが声を掛けてくださったり、一緒に学習してくれたり、周りのスタッフにたくさん支えていただいています。また、子ども達の笑顔や、元気に退院していく姿を見て元気をもらい、「頑張ろう！」という気持ちになり、患児やそのご家族に支えられながら日々頑張っています。

看護師2年目になり、たくさんの後輩も入ってきたことで、頼る側から頼りにされる側になり、去年以上に責任感ある行動をとらなければならないという意識も高まりました。今後、より経験をつみ、患児やそのご家族、スタッフにも信頼される、笑顔を忘れない看護師になれるよう、精いっぱい全力で頑張っていこうと思います。

### 看護部からの一言

三重病院は、260床の病床数で、診療科は小児科、小児外科、耳鼻科、神経内科、整形外科、内科、重症心身障害者等です。また、中勢地区の小児二次救急を24時間受け入れている病院です。

看護の対象は、0歳から100歳と幅広く、小児・成人・老年の看護を行っています。障害を持ちながら入院をされている方も多く、対象に応じたぬくもりのある看護の提供をモットーに、看護に取り組んでおります。

そんな中で、受け持ち患者の看護をマネジメントし、チームに働きかける森看護師の姿は、フレッシュであり、新人看護師のあこがれのまです。



## 奥村 みなみ

三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院



平成23年度卒業  
現在看護師2年目  
6階西病棟（外科）

### 松阪中央総合病院を選んだ理由

こんにちは！バタバタと走り回った1年目から、小走り程度になってきた2年目ナースです！私がこの病院を選んだ一番の理由は、教育プログラムがしっかりと確立していると思ったからです。新人研修では、病棟配属前の約2か月間、すべての病棟をまわるローテーション研修があります。基本的な看護技術を忙しい業務の中で教わるのではなく、この研修の中で時間をかけて確実に学びます。また配属病棟では学べない処置や援助方法も学ぶことができ、実際に病棟へ配属された時、少し自信を持って看護ができると思います。

新人研修以外の教育プログラムでは、経験年数に応じた研修や認定看護師が主体となって行う専門分野など様々なコースがあり、自分が興味をもった研修を選ぶことができます。

### 今後の抱負

2年目となり、ただ看護業務をこなすのではなく、自分が思う看護を実践できるようになってきました。また仕事以外に先輩と話す機会も増え、少しずつですが余裕をもてるようになり、プライベートも充実してきたと感じています。まだまだ知らないことや、学ぶところはたくさんありますが、患者さんやスタッフから信頼され、自信をもった看護ができる看護師を目指し、これからも日々精進していきたいです。

### 看護部からの一言

440床の急性期病院である当院は、地域医療支援病院、がん診療連携拠点病院として、救急医療やがん診療を担っています。地域のみなさまに安全で安心な医療を提供できる人材育成と、イキイキと働ける職場づくりのためのワークライフバランス推進に取り組んでいます。なかでも、新人ローテーション研修は、大卒ナースの看護技術への不安軽減を目的に始めた研修で、今年で10年目になりました。今年度からは、e-ラーニングも導入し、さらに充実したものとなりました。研修医とのランチセミナーなど、病院全体で新人ナースをサポートしています。

奥村看護師は、外科病棟に勤務し、手術前後、化学療法、ターミナル期など、一年間で様々な患者さまの看護を経験しました。落ち込む事もありましたが、その成長は目覚ましく、将来を期待する看護師です。奥村看護師のように、当院では真学の卒業生がたくさん活躍しています。

## 谷口 優奈

尾鷲総合病院



平成23年度卒業  
現在看護師2年目  
6F 病棟

私が看護師として働いている尾鷲総合病院は、高度医療に対応した東紀州地域の中核病院として、地域に根付いた医療を提供しています。私は、生まれた時から高等学校まで地元である尾鷲市で育ち、尾鷲総合病院から地域推薦として三重県立看護大学へ進学させていただきました。現在は看護師2年生として日々勉強の毎日ですが、師長さん、主任さんをはじめ、先輩助産師さん、先輩看護師さんに優しく指導していただき、赤ちゃんの泣き声を癒しに、元気で笑顔を活かして働いています。所属先である6階病棟は、混合病棟であり、産科・小児科・眼科・内科といった様々な患者さんが入院されているため、幅広い年齢を対象とした様々な疾患について、また特殊性の高い看護について学ぶことができます。院内研修も盛んで、卒後1年目研修から事例検討、三重県看護協会の看護実践研修にも積極的に参加させていただいています。2年目になり新しい仕事も増え、責任感も少しずつ感じることができるようになりましたが、初心を忘れず、様々な疾患に対応できる質の高い看護として、正確な知識と技術を身に付け、常に根拠のある看護が実践できることを目標に、今後も患者さんが信頼できるように努力を忘れず、笑顔で頑張りたいと思っています！

### 看護部からの一言

尾鷲総合病院は、青い海と緑の山々に囲まれた東紀州の地にあります。一般病床199床と療養病床56床を有し、365日24時間救急を受け入れる地域の中核病院です。尾鷲市の高齢化率は37.7%（平成25年7月1日）と高く、10年後の日本の高齢化社会の姿と言われています。癌診療連携推進病院指定や災害拠点病院、また三重大との治験連携など高齢者医療と共に、この地域の医療を支えていかなければなりません。住民の声・職員の声を大切に住民・職員が地域病院を育て、住民参加型病院を旨とし、看護職員として自覚と誇りを持ち、患者さんが満足していただける高質の看護を実践するため日々努力しています。

卒後2年目の谷口さんは、地元出身の元気で明るい看護師です。先輩方の指導を受けながら成長著しく、誰でも心と笑顔で患者さんからも信頼を得ています。高齢者医療・僻地医療に興味のある方、都会の生活に疲れ癒しを求めたい方、そして何より地元を愛する方、是非当院と一緒に働きましょう。心よりお待ちしております。



# 教職員紹介

## 地域在宅看護学 准教授

あきやま あきこ  
**秋山 明子**

地域在宅看護学の秋山明子と申します。前母校では、高齢双生児の調査研究や在宅医療体制に関する研究などを行ってまいりました。この度、三重にご縁をいただき、本年4月に着任いたしました。保健師教育ならびに在宅看護学を担当させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 地域在宅看護学 講師

ふくやま ゆみ  
**福山 由美**

4月1日に着任しました福山由美と申します。公衆衛生看護と在宅看護に関する講義、臨地実習を担当しています。切れ目のないケア提供の鍵となるケアマネジメントを研究しています。まだまだ穴だらけの私の研究と人生ですが、切れ目なく、研究と教育に専念していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 実践基盤看護学 講師

ふじた よしこ  
**藤田 佳子**

今年度より実践基盤看護学の講師に就任いたしました。基礎看護学の中の主に看護技術を担当しています。学生の皆さんと共に学び成長してゆきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 母性看護学 助教

にしざわ まりこ  
**西澤 麻里子**

10年余り助産師として病院で勤務してきました。助産師ならではの大変さもありますが、そればかりではない、楽しさや喜びを学生の皆さんに少しでも伝えられたらと思います。

## 老年看護学 助手

なかしま なおこ  
**中島 直子**

昨年12月より老年看護学の助手に就任致しました。本学を第一期生として卒業し、10年強の臨床経験を経て母校に戻って参りました。かわいい後輩でもある学生さんと共に看護を学べることを、大変嬉しく感じております。

臨床現場で培った根性で頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

## 小児看護学 助手

みずたに あや  
**水谷 あや**

昨年10月より小児看護学の助手として参りました。大阪で大学生生活と看護師生活を満喫し、生まれ育った三重県に戻り、学生さん達と一緒に頑張っています。どうぞよろしくお願い致します！

## 新任教員



## 感染管理専任教員

のざき のぞみ  
**野崎 希**

認定看護師教育課程「感染管理」で専任教員を務めさせて頂くこととなりました。

この貴重な経験を研修生と共に存分に楽しみ、学び多きものとなるよう頑張りたいと思います。

## 事務局

### 副理事長・事務局長

いとう たかし  
**伊藤 隆**

本年4月に就任しました。着任して感じているのは、素晴らしい環境、そして何よりも公立大学としての誇るべき実績や伝統が本学にはあるということです。また、学生の皆さんも優秀です。

関係の皆様と共に、質の高い看護職者の育成に努めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

小久保 純一 伊藤 隆 藤谷 美恵



### 教務学生課

こくぼ じゅんいち  
**小久保 純一**

4月から教務学生課で、学生支援全般について担当しています。

広い守備範囲の中で、現場の仕事に取組みながら、事務分掌を確実に進めていきたいと思っています。

### 企画広報課

ふじた みえ  
**藤谷 美恵**

4月に県庁から赴任してきました。こんなに若人の多い職場は十一年の県職員生活で初めてです。学生の皆さん、卒業生の皆さんに母校をより誇りに思ってもらえる三看大づくりのお手伝いのできればと思っています。

### 教務学生課

たなか ちえ  
**田中 千恵**

4月に県庁の景観まちづくり課から赴任しました。主に入試業務を担当しております。学生生活を快適に送っていただけるようサポートしていきたいと思っています。

よろしくお願い致します。

### 総務課

おちあい ひろかず  
**落合 弘和**

4月から総務課で主に歳入・歳出・施設などを担当しています。よろしくお願い致します。

### 総務課

うちやま ひろゆき  
**内山 浩之**

昨年8月から総務課に勤務させて頂いております。

スタッフ部門の一員として、お役に立てるよう頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

### 【退職の教員】

水野 正延 教授 平成25年3月  
白井 徳子 准教授 平成25年3月  
奥山 みき子 講師 平成25年3月  
田中 利枝 助教 平成25年3月  
北澤 強志 助手 平成25年3月  
片岡 えりか 助手 平成24年6月

### 【平成25年3月に退職・転出の職員】

橋爪 彰男 山下 智恵里  
川辺 秀樹 上田 佳子  
熊崎 淳 脇 眞澄  
西田 文彦

## 附属図書館



### 附属図書館

すずき みき  
**鈴木 美貴**

今年度より、図書館で勤務しております。

学習しやすく、お探しの資料がすぐ手に入るような環境を作っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

### 附属図書館

にしむら みなこ  
**西村 美奈子**

いつもご利用ありがとうございます。

充実した学生生活を送っていただけるよう、快適に学習できる環境づくりに努めてまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

# お知らせ

## 子どものこころの健やかな育ちを願って ～児童・思春期精神科病棟における看護ガイドライン作成～



突然ですが、私は働きママです。我が家には、思春期にさしかかりママがうざっくなかった11歳の長男とまだまだママべったりの長女がいます。人の母として、社会における大人として、いじめ、不登校、虐待、若年者の自殺、少年犯罪などのニュースを耳にするたびに、とても悲しくなります。これらは、子どものこころの問題と密接に関係しているのです。

現在、わが国では、こころの問題をもつ子どもとその家族が、専門的なケアを早い段階で身近な地域で受けられる体制作りを急ピッチで進めています。そこで、私たちは、児童・思春期精神科病棟における看護ガイドラインを作成し、臨床看護師向けにQ&Aにまとめました。ガイドラインでは、臨床現場で生じる看護師の疑問に対して原則的な考え方と実践の指針が示されています。このQ&Aは、「子どものこころのケアと看護」と題するホームページから自由に閲覧・入手することが可能です。<http://capsychnurs.jp/>

子どもたちが、自分の能力を発揮して、生きることを楽しむことができる、“子どもがキラキラ輝く社会”を実現するために、自分にできることはないだろうか。そんな高い目標を掲げつつ、二人の歳の差きょうだいの子育てに目下奮闘中の毎日です。

精神看護学 船越 明子



## みかんだいオリジナルグッズ

大学オリジナルキャラクター「みかんちゃん」の新しいグッズをつくりました。

みかんちゃん飴はオレンジ味で3色あります。

こちらは大学生協でも購入可能です！ぜひお立ち寄りください。



不織布バッグ



みかんちゃん飴



うちわ



カラーは  
5種類♪

クリアファイル

## 犯罪被害を防ぐために

本学は、このほど、津警察署と津警察署管内にある大学、短期大学、専門学校の計6校との間で犯罪や事故の発生状況などの情報を共有する『絆ネットワーク』に参画しました。

県内では初めての取組となるこのネットワークは、津警察署から不審者情報や犯罪の発生情報、訪問販売等の注意喚起の情報などが提供され、提供された情報を一斉メールなどにより学生の皆さんに周知し、犯罪被害を防ごうとするものです。

本学では、学生の皆さんに安全・安心な学生生活をおくっていただけるよう、今後も関係機関との連携を図るなど、防犯への取組を行ってまいります。



# 行事予定

## 平成25年度 大学行事予定(9月以降)

9月	7日	大学院入試(一次募集)
	14日	教育懇談会
	25日	看護管理者意見交換会
10月	15日	後期授業開始
	9日	特別入試(地域推薦)
	23日	特別入試(一般推薦・帰国子女・社会人)
12月	14日	大学院入試(二次募集)
1月	18日	大学入試センター試験
	14日	後期授業終了
	25日	一般入試(前期日程)
2月	12日	一般入試(後期日程)
	15日	卒業式
3月	23日	アカデミックオープンキャンパス

## 平成25年度 地域交流センター事業(9月以降)

9月	9日	公開講座(於:南伊勢町民文化会館)「自分でできる!五感と動きの健康チェック」 講師:白石葉子 准教授 共催:南伊勢町役場福祉課
	10日	初学者のための看護研究(全7回:6/24, 7/8, 7/19, 7/25, 8/8, 8/19, 9/10)
	20, 27日	看護研究アドバンスコース「質的研究データ分析」(全2回)
	21日	看護研究アドバンスコース「質的研究編クリティーク」(全2回:9/21, 10/26)
10月	19日	公開講座(於:三重県立看護大学) 第一部 講演「身近な人に認知症が始まったら・・・」 講師:五島シズ氏(全国高齢者ケア協会監事) 第二部 落語 桂三輝(さんしゃいん)氏
	24日	公開講座(於:第二岩崎病院)「人は誰でも必ずヒューマンエラーを起こす!—事故を予防するための人間工学—」 講師:齋藤 真 教授 共催:第二岩崎病院
11月	5, 12, 19日	看護研究アドバンスコース「英論文の読み方編」(全3回)
12月	28日	公開講座(於:ハイトピア伊賀)「樹木と私たち」 講師:山口和世 特命教授 共催:伊賀市教育委員会 上野公民館
	21日	公開講座(於:津市敬和公民館)「楽しくおいしく減塩しましょう」 講師:前田貴彦 准教授 共催:津市敬和公民館
1月	22日	公開講座(於:三重県立看護大学) 第一部 三重ジュニア管弦楽団コンサート 指揮:梶 吉宏先生(三重県文化会館館長) 演奏:三重ジュニア管弦楽団 第二部 講演「思い出してみましよう!子どもの頃」 講師:志村浩二氏(三重県臨床心理士会副会長)
	27日	公開講座(於:第二岩崎病院)「患者のクレームはなぜ起こる?」 講師:若林たけ子 教授 共催:第二岩崎病院

上記の他に、種々の地域貢献事業を実施しています。

※この行事予定は8月5日現在のものです。今後追加される行事があります。  
※行事の詳細については、大学HPでお確かめください。

## エコに涼しく ~みどりのカーテン ゴーヤ作りに挑戦~

平成25年5月 管理棟玄関前にゴーヤの苗を植えました



晴れの日が続く中、すくすく育つ緑のカーテン

7月

初めての収穫の日を迎えました♪



### 本学キャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんだい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



本学は環境配慮の国際規格を看護系大学で初めて認証取得しました。

看護系大学で初めてISO14001を認証取得。地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境に優しいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO(国際標準化機構)環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。



MIE  
PREFECTURAL  
COLLEGE  
OF NURSING

公立大学法人

# 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

http://www.mcn.ac.jp/

